

「森のジャンケン」

すっかり木の葉が落ちて、明るくなった森で、
シカのシタクさんとリスのリリコちゃんが、遊んでいます。

「ジャンケンポン！」

シタクさんがペアを出して、リリコちゃんがグー。

「やったー！」

シタクさんは「パ・イ・ナ・ツ・ブ・ル」と言いながら、6歩前へ進みました。

「ジャンケンポン！」

今度はリリコちゃんがチョキ、シタクさんがペア。

リリコちゃんも「チ・ヨ・コ・レ・イト」と言いながら、6歩前へ進みます。

でもリリコちゃんが止まったのは、シタクさんよりずっと手前の方、シタクさんには追いつきません。

「ジャンケンポン！」

今度はシタクさんがグーで、リリコちゃんがペア。

リリコちゃんは「パ・イ・ナ・ツ・ブ・ル」と6歩前に進んで、やっとシタクさんと並びました。

シタクさんは「しめた！」と思いました。

だって同じ「パ・イ・ナ・ツ・ブ・ル」でも、足の長いシタクさんと小さなリリコちゃんでは、シタクさんの方がたくさん進めることに気づいたからです。

何回もジャンケンしているうちに、シタクさんはずっと先の方へ進んで行ってしまいました。

「シタクさん、すごいねー」

リリコちゃんがニコニコしながら言っています。

シタクさんはなんだか変な気持ちになりました。

リリコちゃんよりこんなに勝っているのに、うれしくないのです。

サアッと風が吹いてきて、お日さまの金色の光が木の枝の間から、キラキラとこぼれてきました。

「ジャンケンポン！」

シタクさんがグー、リリコちゃんがチョキ。

シタクさんは「グ・リ・コ」と言いながら、3歩前へ進みました。

小さく、小さく、アリさんくらいの歩幅でね……。